

★学校教育目標		○自ら学び考え行動しよう ○責任と思いやりの心をもとう ○健全な心と体をつくろう		★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）				全ての生徒が「明日も学校に行きたい」と思えるために、 ○生命尊重、人権教育、いじめの根絶、体力向上に取り組む ○生徒にとって安心、安全な学校づくりを推進する。 ○「学びの変革プロジェクト」・・・主体的な学びと学力向上に向けた取組を推進する。 ○特別支援教育と校内別室指導の一層の充実を図る。 ○地域と学校が双方向で連携を深める。	
【目指す児童・生徒像】	①確かな学力を基盤に、将来の夢に向かって主体的に学び向上する生徒 ②礼儀正しく、真面目さや正義を大切にする生徒 ③思いやりの心もち、お互いが力を合わせてより良く生きようとする生徒				
【目指す学校像】	①生徒の健康・安全を提供できる学校 ②確かな学力と社会性及び人権尊重の精神が身に付く学校 ③生徒・保護者・地域から信頼される学校				
【目指す教師像】	①生徒理解に優れ、人権尊重の精神に基づいた教育活動を実践できる教職員 ②教育の専門家として、確かな指導力をもつ教職員 ③チームワークを大切に、社会人として常識のある教職員				

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	成果指標		
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	【学びの変革プロジェクト】 主体的な学びと学力向上に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえた「主体的な学習活動を中心とした授業づくり」の推進 学び合いを活用した「主体的に学習に取り組む態度」の育成 全国学力・学習状況調査の分析と学力向上に向けた授業改善の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究を充実させ、主体的な学習活動を中心とした授業改善を推進する。 学習者用端末を活用した主体的な学習活動を展開し、生徒同士の考え方の共有を行う。 学び合いや対話を積極的に授業に取り入れ、主体性の育成を図る。 全国学力・学習状況調査を分析し、学力向上に向けた質の高い授業づくりを目指す。 	4	90%以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	4	生徒のアンケートで、90%以上が「主体的に授業や学習に取り組んでいる」と回答した	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を活用した授業が日常的に行われており、生徒の興味・関心に沿った探究的な学習になっている。 身近な事象や出来事を題材とした授業が行われていて感心した。 将来、社会に出た時に働く上で必要な知識や実践的な力を育てていきたい。 	約87%の生徒が主体的に授業や学習に取り組んでいると回答した一方、授業改善を求めている生徒が一定数いることが分かった。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識し、生徒の主体的な学びを引き出すことができるよう、学校全体で更なる授業改善を推進する。
	「心の教育」の充実	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の視点に立った教育活動の実践 道徳教育の充実 あいさつ運動の推進 ボランティア活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の視点に立った教育活動の充実を図ると共に、自他の生命を尊重し、差別・偏見をなくす指導を多面的に行う。 人権感覚を高める環境整備（掲示物、作品への配慮）を行う。 生徒が生命尊重をはじめとする道徳性を養うために、「考え・議論する」道徳の授業を継続的に実践していく。 道徳授業地区公開講座を充実させる。 「あいさつとマナーの七生中」の伝統を継承し、日常的なあいさつの励行とあいさつ運動の推進を図る。 ボランティア活動を促進し、生徒の心の教育の充実を図る。 	4	90%以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	4	生徒のアンケートで、90%以上が「道徳教育の内容を理解し実践している」と回答した		
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	特別支援教育と校内別室指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対する適切な支援の提供 不登校傾向の生徒への対応と支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会を活用し、生徒一人一人にとって効果的な支援の具体策を検討し、実践していく。 かしのきシート、個別支援計画を保護者と協力しながら丁寧に作成し、継続した支援を実践していく。 ステップ教室、リソースルームの充実により、生徒の学習意欲と自己肯定感を高めていく。 欠席が多い生徒に対しては、校内別室指導員を活用し、別室登校や別室指導を行っていく。 	4	90%以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	4	生徒のアンケートで、90%以上が「困りごとに対し、学校はしっかり話を聞いて対応してくれている」と回答した	<ul style="list-style-type: none"> 社会とのつながりを切らさないようにしていくことが大切であり、地域としても支援に協力していきたい。 校内別室の整備や生徒一人一人の状況に応じた個別の対応等、とても充実した取組が行われている。 	生徒一人一人の状況を毎週の校内委員会で共有し、支援方針を決定することで、丁寧な支援や対応を行うことができている。不登校傾向のある生徒の居場所づくりを推進したことで、登校日数が増えた生徒も多くなった。今後も学校全体で組織的な支援体制を構築していく。
	人権尊重の視点に立った教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自他を認め合い尊重し合う学校風土の形成 いじめの未然防止と早期発見、早期対応 情報モラル教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育を推進し、お互いを尊重し合い、安心して学校生活が送れる学校風土を作る。 教職員の人権感覚を向上させ、言葉遣いに気を付けさせる。 生徒の言語環境を整え、自他を尊重する精神を培う。 「七生中学校いじめ防止基本方針」に基づき、定期的なアンケート実施や、生徒の様子について情報を共有することで、いじめ予防と発生の迅速な対応を組織的に行う。 SNSに使い方について、道徳やセーフティ教室、東京SNSノートを活用し、継続的な指導を行う。 	4	90%以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	4	生徒のアンケートで、90%以上が「自分は人権を尊重して行動している」と回答した		
社会と未来に開き、みんなをつくる	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らの力で生き方を選択していく能力や態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年で職場体験を実施する。 地域人材及び事業所を活用したキャリア教育を推進する。 小中高の12年間を見通したキャリアパスポートを活用する。 	3	90%以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	3	生徒のアンケートで、90%以上が「自分の将来について考えるようになった」と回答した	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験が再開されたことは非常に意義深いことであると考えます。 より多くの方から話を聞くことで、たくさんの仕事に興味をもてるようにしてほしい。 地域としても人材確保に協力していきたい。 	総合的な学習の時間における取組だけでなく、各教科においても社会や仕事、働き方について考えさせる場面を増やすとともに、キャリア・パスポートを活用した系統的・教科横断的な指導を充実させていく。
	保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域と連携した教育活動の充実 地域行事に積極的に参加する態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> PTA、七生中育成会、親父会等に協力を得ながら、特別活動や行事の充実を図る。 地域人材を活用し、道徳及び総合的な学習の時間の充実を図る。 地域行事に積極的に参加する態度を育成し、ボランティア精神や公共心、地域貢献の意識の向上を図る。 	4	70%以上の教員が、具体的な取組に関わった。	4	生徒のアンケートで、70%以上が「学校や地域などのボランティア活動に参加したことがある」と回答した		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。